



当社の社名「Delta-Fly」は
「Dragonfly（とんぼ）」に由来しています。

第三者割当による株式及び行使価額修正条項付第7回新株予約権の発行に関する説明資料

2023年10月20日

Delta-Fly Pharma株式会社
(東証グロース:4598)

①財務の安定を確保 及び ②研究開発の実現に向け 機動的かつ既存株主の利益に配慮した資金調達を行うため、 第三者割当による新株発行と新株予約権を組み合わせたによる資金調達を実施

1. ライセンス契約先である日本ケミファ株式会社への第三者割当での新株式発行

- 当社が有する抗がん剤候補化合物DFP-14323及びDFP-17729のライセンス契約先である日本ケミファ株式会社へ出資を依頼
- 今後の新薬開発の発展の可能性や医療品製造販売承認の取得への取り組みを進める検討を開始
- 当社の事業及び今後の成長性、社会的存在価値等についての理解のもと、本新株式の割当予定先として選定

2. 行使価額修正型新株予約権を同時発行

- 開発資金需要の高まりを背景に、第三者割当での新株発行に加え、機動的な資金調達を可能とする行使価額修正型新株予約権を同時に発行

第三者割当による新株式の発行

本新株式発行に関する背景と目的について

- 2020年3月26日、日本ケミファ株式会社との間で当社が特許を保有する、がん微小環境改善剤「DFP-17729」について、日本国内における独占的販売権ならびに日本国内で販売するための独占的製造権を日本ケミファ株式会社に付与するライセンス契約を締結しました
- 2022年3月8日、日本ケミファ株式会社との間で当社が特許を保有する、非小細胞肺癌(上皮成長因子受容体(EGFR)遺伝子変異陽性、ステージIII/IV)の患者を対象に開発中の「DFP-14323」の日本国内における独占的販売権を日本ケミファ株式会社に付与するライセンス契約を締結しました
- 今回の第三者割当による新株式発行に際し、当社と2つのライセンス契約を締結しており、事業内容及び今後の臨床試験の進捗や早期の上市・事業化に向けた成長性等について理解のもと、日本ケミファ株式会社と一層の深耕と発展に資するものと考え、割当先として適切と判断し選定しました

名称	第三者割当による新株式発行
割当先	日本ケミファ株式会社（東証スタンダード：4539）
発行株式数	555,000株を上限とする
新株発行による資金調達額	5.0億円を上限とする
払込日	2023年11月10日（金）

(※)本新株式発行に関する詳細は、本日公表のプレスリリース「第三者割当による株式及び行使価格修正条項付第7回新株予約権の発行並びに主要株主の異動に関するお知らせ」をご参照ください

第7回新株予約権による資金調達を実施

本新株予約権に関する背景と目的について

今回の第三者割当による新株予約権発行に際し前回の実績を考慮した結果、マッコーリーキャピタル証券会社及びマッコーリー・バンク・リミテッドから資金調達のストラクチャー・基本条件の提案、設計されたスキームが、当社の資金調達ニーズを満たすものであると判断しました。また、これまでのグローバルな活動実績や保有方針等を総合的に勘案し、本新株予約権の第三者割当の割当予定先として適切と判断いたしました

資金調達総額 (※)	約8.1億円 (当初行使価額ベース)	
新株予約権の個数	10,800個	
潜在株式数/潜在希薄化率	潜在株式数 1,080,000株/潜在希薄化率16.50% (2023年9月30日現在の当社発行済普通株式総数 6,544,600株に対する割合)	
権利行使可能期間	2年間 (割り当て日の翌取引日から2025年11月12日まで)	
行使価額	当初	747円 (発行決議日前営業日の終値の92%)
	上限	なし
	下限	407円 (発行決議日前営業日の終値の50%)
	行使価額の修正	各行使請求日の前取引日の終値の92%に相当する額に修正 (ただし、下限行使価額は下回らない)
不行使期間	当社は本新株予約権の行使期間中、不行使期間を合計4回まで設定可能 1回の不行使期間は10連続取引日以下とする	
取得条項	当社取締役会の決議に基づき、本新株予約権の払込期日の翌日以降いつでも、15取引日前までに本新株予約権者への通知により、残存する本新株予約権の全部又は一部を本新株予約権の発行価額相当額で取得可能	
割当先	マッコーリー・バンク・リミテッド	

(※)資金調達総額は、本新株予約権が全て当初行使価額(発行決議日の直前取引日の東証終値の92%)で行使された場合における金額

(※)本新株予約権に関する詳細は、本日公表のプレスリリース「第三者割当による株式及び行使価格修正条項付第7回新株予約権の発行並びに主要株主の異動に関するお知らせ」をご参照ください

今次調達資金は主に研究開発費として充当し、パイプラインのフェーズ進捗を目指す

目的

財務の安定性を確保しながら、研究開発を推進

資金使途

DFP-17729の臨床第1/2相試験及び次臨床試験の研究開発費	650 百万円
DFP-11207の臨床第2相試験の研究開発費	180 百万円
DFP-14927の臨床第1相試験及び次臨床試験の研究開発費	150 百万円
DFP-10917の臨床第3相試験の研究開発費及び承認申請関連費用	150 百万円
開発体制・管理体制の強化（人件費）及び特許開発費用等（経費）	80 百万円

(※)各資金使途の総額は本新株式の発行価格の金額及び本新株予約権が全て当初行使価額で行使された場合における総額

今後のスケジュール

開発品	開発地域	開発段階	上市後の最大年間製品販売予測 (億円)	想定決算期	2022年3月期	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期		2027年3月期		2028年3月期		2029年3月期以降
					下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
DFP-10917	USA	自社 P-3	Global 700	2024年3月期		P-3 試験中		申請準備予定		上市予定								
				2023年3月期		P-3 試験中		申請予定		上市予定								
	Japan	他社 P-1	国内 100	2024年3月期		P-1 試験中												
				2023年3月期		P-1 試験中												
DFP-14323	Japan	自社 P-2	国内 100	2024年3月期	P-2 試験終了	P-3 準備・試験予定		申請準備予定									上市予定	
				2023年3月期	P-2 試験中	P-3 予定		申請予定		上市予定								
DFP-17729	Japan	自社 P-1/2	国内 50 × n	2024年3月期	P-1/2 試験中		P-3 準備・試験予定		申請準備予定		上市予定							
				2023年3月期	P-1/2 試験中		P-3 予定		申請予定		上市予定							
DFP-11207	USA	自社 P-2	Global 1000	2024年3月期	P-2 準備		P-2 試験予定		P-3 準備・試験予定									
				2023年3月期	P-2 準備	P-2 予定		P-3 予定		申請予定	上市予定							
DFP-14927	USA	自社 P-1/2	Global 300	2024年3月期	P-1 試験中		P-1 拡大試験予定											
				2023年3月期	P-1 試験中	P-1 拡大												
DFP-10825	USA	自社 前臨床	NA	2024年3月期	前臨床試験終了		P-1 準備											
				2023年3月期	前臨床試験中		準備											

注1 「上市後の最大売上高予測」は、「薬事ハンドブック2023(じほう)」より、当社における1年間での最大製品販売額(死亡者数×類似疾患医薬品薬価×独自係数)にて算出しました。また、当該製品販売額は各パイプラインのライセンスアウト後におけるロイヤリティ収入等を予測したものであり、将来的には変動することがあります。

注2 開発品の製造・販売承認については、開発地域の規制当局からの承認が認められた場合、順次その他の地域(例えば:米国、欧州、アジアなど)の拡大を見込んでおりますが、その他の地域の規制当局による承認が必要となります。

現時点の調達資金の充当状況

(単位:百万円)

資金調達	調達額 (実績・予定)	資金用途	充当額	使用期間
新規上場時 新株発行(普通株式) (オーバーアロットメントによる売り出し分を含む)	3,448	開発パイプラインの研究開発費、人件費及び経費等に充当予定	3,448	2019年3月期～2028年3月期
第4回新株予約権 (全て行使済み)	988	DFP-14323の臨床第3相試験の研究開発費 DFP-17729の臨床第1相及び第2相試験の研究開発費 開発体制・管理体制の強化(人件費)及び特許関連費用等(経費)	617	2021年4月～2024年3月 2021年4月～2023年3月 2021年4月～2022年3月
第5回新株予約権 (全て行使済み)	887	DFP-10917の臨床第3相試験の研究開発費 DFP-14323の臨床第3相試験の研究開発費 開発体制・管理体制の強化(人件費)及び特許関連費用等(経費)	475	2022年12月～2024年3月 2023年4月～2025年9月 2022年12月～2024年3月
第6回新株予約権 (50%未行使)	423	DFP-10917の臨床第3相試験の研究開発費 DFP-14323の臨床第3相試験の研究開発費 開発体制・管理体制の強化(人件費)及び特許関連費用等(経費)	-	2022年12月～2024年3月 2023年4月～2025年9月 2022年12月～2024年3月
合計	5,746		4,540	

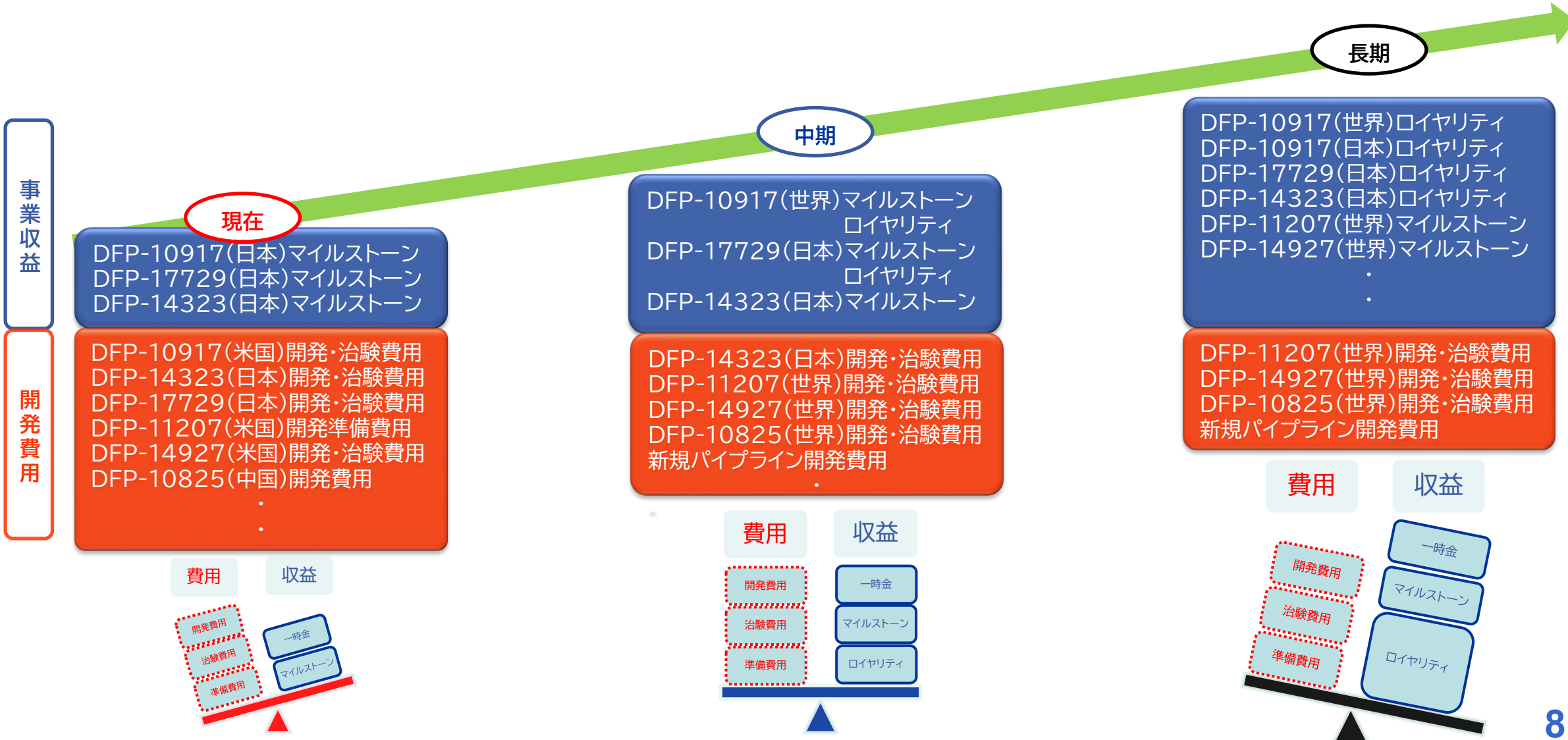
(単位:百万円)

対象	調達額	内容	充当額	2023年7月現在 実施状況
DFP-10917	2,244	臨床第3相試験の研究開発費	2,059	実施中
DFP-11207	250	臨床第2相、第3相試験の研究開発費	250	完了
DFP-14927	632	臨床第1相試験の研究開発費	632	完了
DFP-10825	342	前臨床試験の研究開発費	342	完了
DFP-14323	1,673	臨床第2相、第3相試験の研究開発費	702	実施中
DFP-17729	350	臨床第1相及び第2相試験の研究開発費	350	完了
人件費及び経費等	255	開発体制、管理体制の強化、特許関連費用等	205	実施中

(※) 本日公表のプレスリリース「第三者割当による株式及び行使価額修正条項付第7回新株予約権の発行並びに主要株主の異動に関するお知らせ」に基づいて記載しております

(※) 下表の各対象における調達額及び充当額は、新規上場時並びに第4回、第5回、第6回新株予約権を合計して記載しております

企業価値向上を目指すため、手持資金、世界(欧米・アジア)・日本でのライセンスフィーの獲得、株式市場からの資金調達等により開発資金の確保を実施し、開発投資を計画的に行いパイプラインの上市を目指し、収支バランスのコントロールをしつつ、収益拡大を目標とする方針です



- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。
- 本資料は、当社に関する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来に対する見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の結果が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。



IRに関するお問い合わせ先

Delta-Fly Pharma株式会社 東京オフィス

E-mail info@delta-flypharma.co.jp

URL <https://www.delta-flypharma.co.jp/>